

---

**遊戯王、序章『なんだかんだ言っても、やっぱり最初は説明口調』**

鈴木

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

遊戯王、序章『なんだかんだ言っても、やっぱり最初は説明口調』

### 【Nコード】

N8303T

### 【作者名】

鈴木

### 【あらすじ】

独りの遊戯王好きの少年が一つのデッキを手にしたからの物語。

(前書き)

皆さんこんにちは、そしてはじめまして。

鈴木です。

初投稿なんで、グツダグツダのガツタガタですが、暖かい目で見てくださいれば幸いです。

(ペコリ)

とある高校のとある生徒。

勉強平均、体育まあまあ、美術や音楽は結構な男子。

プラス厨二病&遊戯王好き。

小学五年の頃、遊戯王からいったん身を引き他のカードゲームに移行、戻ったのがいつか忘れてたが、確かその時は『HERO』が注目されていたことは覚えてる。

引き出しを開け、遊戯王を引っ張り出し、その時の自分にあつた『知恵』と『カード』を最大限使い、デッキを構築した。

…デッキの完成度は酷いものだ。

パワーデッキと銘打っておきながら其処まで攻撃力が強いわけでもなく、『次元帝の亜種だ!』と言っておきながら何故かダムドが入っていたり、『裂け目』や『コスモス』は合わせて三枚しかない、  
つたり、

…ここまできたら勝率なんて言うまでもない。

そんなこんなでカンも少しづつ取り戻していき、暫くはストラクチャーを三つ買って作った『アンデット』を使っていた。

勿論ガチではなく、『酒吞童子』『火車』『赤鬼』を入れたネタ、友達間では『妖怪デッキ』と言われていたものを使っていた。

しかしやはり『しつかりしたデッキ』には勝てず、お気に入りのカードを使ってたデュエルにも『勝ち』を求めるようになった。

…だが、一からデッキを作るとなると、やはり資金がかさむし、パ

ツクでは必ず欲しいカードが当たるわけではない。  
やっぱりストラクチャーでガマンするしかないのか？

そんな事を胸の内では考えていると、何時も一緒に昼飯を食べている  
友達から、こんなことを聞いた。

『だったら今度の土曜日、一緒に (店名) に行かねえか？ あ  
そこだったら店オリジナルの構築済みデッキが売ってるぜ。』

俺の返事は勿論YES！

自転車を友達の家に行かせ30分、友達の家から店まで30分。  
ようやく到着。

どうやら毎週土曜日は大会があるらしく、周りを見れば他の友達も  
チラホラ…。

そんな中で、何故か俺も大会に参戦！

…次元斬に瞬殺、開始三ターンでケリが付いたと思う…。

気を取り直して、俺は大会が終了したとたんに友達と (店名)

に向かった。 (大会やったのと は違う店)

俺は店の人に頼み、オリジナルデッキを見せてもらった。

見たこともないようなデッキや中には聞いたようなデッキもあった、  
だけど俺は、それらには目もくれず俺はある一つのデッキに手を伸  
ばした。

そのデッキこそが、今の『遊戯王をやっている俺』を象徴するデッ  
キになるとは、まだこれっぽっちも予想してなかった…。

(後書き)

とりあえず、退屈な説明口調で終わってしまっすいません(汗)

とりあえず頑張っす書いていききたいと思っす!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8303t/>

---

遊戯王、序章『なんだかんだ言っても、やっぱり最初は説明口調』

2011年10月9日08時10分発行